

# まなびの方法を知らう

## さあ、どこから とりかかったら いいか？

「知りたいことはなんなのか。」すべてはここからスタートする。そして、「ふしぎだな」「おかしいな」と思ったところはどこなのか、自分なりに課題を見つけてチャレンジしていこう。

まずは問題を見つけよう。むずかしいことはない。ふだんよりちょっと身のまわりのことに関心を持って、「どうしてかな？」「その先は、どうなるの？」「こうなる前ははどうだったの？」「見えないところでなにが起こっているの？」って考えること、それが課題を見つける第一歩だ。

### 1. まず課題を見つける

問題だと思うこと、こうなったらいいなと思うことをあげて話し合い、課題を見つけよう。



「プラスチックとのつきあい方を考える」を課題として取り組むことにしよう！

### ■課題が決まったら、こんな手順で調査を進めよう

### 2. 知りたいことを整理する

プラスチックのなにが知りたいのかな？ 原料？ なにに使われている？ いつごろから使われ始めた？ 種類は？ いろんな疑問をあげて整理しよう。

### 4. 情報を集める

プラスチックに関すること、使用量や用途、種類なんかも知りたいな。情報の質と量が結果や行動を大きく左右する。

### 6. 行動・発表

行動のアイデア出して、行動計画を立てたぞ。仲間と一緒に作戦開始。まず、レジ袋をやめてみた。いろいろ努力した活動を終え、結果をまとめて発表だ。

### 3. 計画を立てる

はじめに問題点を調べて対策を考えるとどこまでやるぞ。次に行動してみるんだ。そして、最後に結果をまとめ、発表する…こんなふう計画を立てよう。

### 5. 自分なりの結論を出す 対策を考える

調べたことからなにかわかったか、問題はなにか、解決するにはどうしたらいいかを自分で考える。これがとても大切な。よし、使い捨てのプラスチックを20%減らすことに挑戦しよう！

### 7. チェック

やった！ 使い捨ての量は半分になった！ 目標達成だ！ さあ、次の課題にチャレンジだ。

### ■調査を進めるうえでのポイントはここ！

調査の途中で迷ったり、どうしていいかわからなくなったら、このページを見直そう。

### 1. まず課題を見つける

課題は、自分の疑問や問題だと思ふことから生まれてくる。疑問を整理してこれから取り組む課題につくりかえるんだ。「机の上の文房具はなぜプラスチックだらけなんだろう？」っていう疑問を、「プラスチックとのつきあい方を考える」というふうにしあげる。これから進める活動の看板をつけるようなものだ。

### 2. 知りたいことを整理する

どうして自分がその課題に取り組むことにしたのか、疑問点・問題点をさらに深めよう。いろいろな視点から見てみよう。そして、調べたいこと、明らかにしてみたいことをたくさんあげてみよう。たくさんあげたら、どれから調べたらいいか、順番をつける。ここが楽しくもあり重要なところだ！

### 3. 計画を立てる

これからの計画を立ててみよう。いつまでに、どこまでやるのか。時間はどれくらいかけられるか？ 目標はどこにおくか？ 課題を調べて自分なりの提案をすることなのか、行動してみて結果を評価することまでなのか、などをはっきり決める。

### 4. 情報を集める

図書室やインターネットで調べる、人に聞くなど、いろいろな方法がある。まずわかりやすい本を探して、課題の全体像をつかみ、それからどんどん掘り下げていこう。もっとくわしい本を図書館の人にたずねたり、インターネットで本にはない新しい情報を調べたりしよう。そのとき情報はうのみにしないで、信頼できるかどうかを見きわめることが大切。インターネットにはとくに注意が必要だ。調べていく中で新しい疑問が出てきたら、そのことにくわしい人に話を聞きに行こう。人に聞きに行くときは、相手を尊敬し、失礼のないように注意する。

### 5. 自分なりの結論を出す 対策を考える

調べたことを整理し、目標をもう一度確認して、結論をまとめよう。「本にこう書いてあった」なんてだめだよ。自分の考えをまとめるんだ。つぎに、自分なりの結論をもとに行動するための対策を提案することが重要だ。行動は、人まかせにしない。自分が取り組めることにすることが大切。大人にもできないパワーが中学生にはあるぞ！

### 7. チェック

最初の計画は、達成できたかな？ 取り組んで楽しかった？ 自分が納得できたり、友だちや先生、家族は理解してくれたかな。結果が、思い通りになっても、ならなくても、努力したことには変わりはない。すばらしいことだ。結果をきっちりふりかえることが、次へのステップとなる。さあ、次の段階へチャレンジを始めよう！ 挑戦は続く。

### 6. 行動・発表

自分なりの結論と対策にしたがって行動してみよう。途中でうまくいかないときもあるはずだ。そんなとき、めげてはいけない。どこが悪かったかを考え、再チャレンジしてみよう。発表することは、とっても大切。自分がなにを考えたか、なににチャレンジしたか、結果はどうだったかをみんなに知ってもらおう。そうするとアドバイスをもらったり、仲間になってもらったりすることができる。発表に関して質問されたら、チャンス！ さらに深めていくヒントになるよ。